

寄稿

「持続可能な地域社会」へ確かな礎を

小田原市長 加藤 憲一

過日、伊豆・葦山城址で行われた早雲公没後五百年供養祭に参列しながら、五百年の時を越えてなお、私たちに様々な遺徳をもたらしている早雲公の生涯に思いを馳せていました。同じ感慨を、暴れ川だった酒匂川の流路を治めた四百年前の先人たちや、現代にこそ通じる訓えを、二百年前に実践として遺した尊徳翁にも抱きます。それらの実績は、今という時点から見れば「歴史」ですが、当

時は現在進行形の「実践」でありました。各時代のそうした実践が、後の時代の有形無形の「礎」になる以上、私たちは今、次代へ向け何を遺せるか・育てるかを、しっかりと意識すべきと考えます。

切なものとは何か「人が豊かに幸せに生きるとは」という命題に軸足を据え、それがより確かに実現される方向へと、地域づくりの照準を定め、おかげななりません。

支え合う「ケアタウン」たる地域コミュニティの充実。学校と地域の連携強化。様々な分野の課題解決の担い手を育てる「おだわら市民学校」。豊かな資源を生かした地域の産業・ものづくり・観光の振興…。

加えて、人口減少・高齢化・少子化による社会構造の変容や、急速に進む情報化・技術革新・グローバル化に伴う暮らしや経済の目まぐるしい動きの只中にある

ことも、市政として「大

や市職員と共にチャレンジしています。健やかないのちを支える自然環境の保全・涵養に向けた、「森里川海」を繋ぐ取り組み、エネルギー地域自給、森づくり、荒廃農地復元。お互いを

オール小田原での協働で着実に進む各取り組みは、向こう数年が勝負どころ。新しい元号になる来年以降も、与えられた使命に全力を傾ける覚悟です。



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校・京都大学法学部卒。2008年5月小田原市長に初当選、現在3期目を務める。妻と子ども2人の4人家族。

私が変わる・小田原が変わる

おだわらを拓く力

(加藤けんいち後援会)

小田原市栄町2-13-1-2F

TEL.0465-21-5260

(月・水・金 10:00~17:00)

http://www.katoken.info